

古賀みらいサマーミーティング

～古賀市の未来のまちづくりを考える市民対話集会～

報告書(案)



主催：古賀市自治基本条例(仮称)策定委員会

開催：平成27年8月28日～9月7日

目次

1. 開催状況	・・・1
(1)主催	・・・1
(2)実施日時・会場・参加者数	・・・1
(3)ミーティング概要	・・・1
(4)参加者について	・・・2
2. まちづくりのキーワード集計	・・・4
3. 各校区まとめ	・・・5
(1)舞の里	・・・5
(2)古賀東	・・・7
(3)花鶴	・・・10
(4)花見	・・・13
(5)小野	・・・16
(6)青柳	・・・19
(7)千鳥	・・・21
(8)古賀西	・・・24
参考	・・・27
周知チラシ	・・・27
当日使用したパワーポイント資料	・・・28

1. 開催状況

(1) 主催 古賀市自治基本条例（仮称）策定委員会

(2) 実施日時・会場・参加者数

校区	日時	会場	参加者数 (委員含)
舞の里	8月28日(金) 19時～20時30分	舞の里小学校会議室	29
古賀東	8月29日(土) 10時～11時30分	古賀市公民館久保分館	35
花鶴	8月29日(土) 19時～20時30分	古賀東区公民館	35
花見	8月30日(日) 19時～20時30分	花見東一区自治公民館	42
小野	8月31日(月) 19時30分～21時	谷山区公民館	42
青柳	9月4日(金) 19時～20時30分	青柳区公民館	31
千鳥	9月5日(土) 19時～20時30分	古賀市社会福祉センター 千鳥苑	46
古賀西	9月7日(月) 19時～20時30分	古賀北区公民館	42
計		8箇所	302

(3) ミーティング概要

○開会のことば【策定委員】

○自治基本条例について（条例、策定委員会の概要説明）【策定委員または市職員】

○パワーポイントによるミーティングの目的確認、話題提供【策定委員】

○対話の時間【ファシリテーターによるグループワーク】

- ・まちづくりのキーワード
- ・この地域がより住みやすい地域であるために

○総括【ファシリテーター】

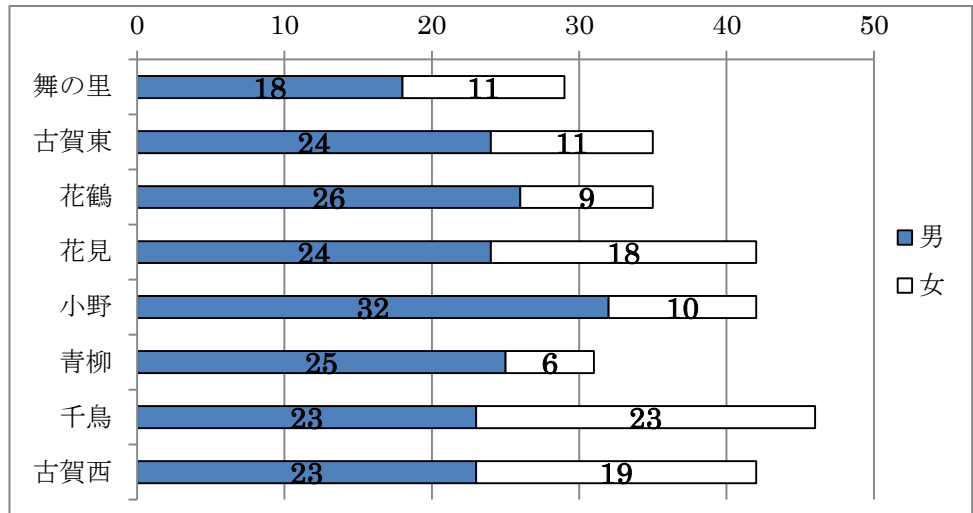
○閉会のことば【策定委員】



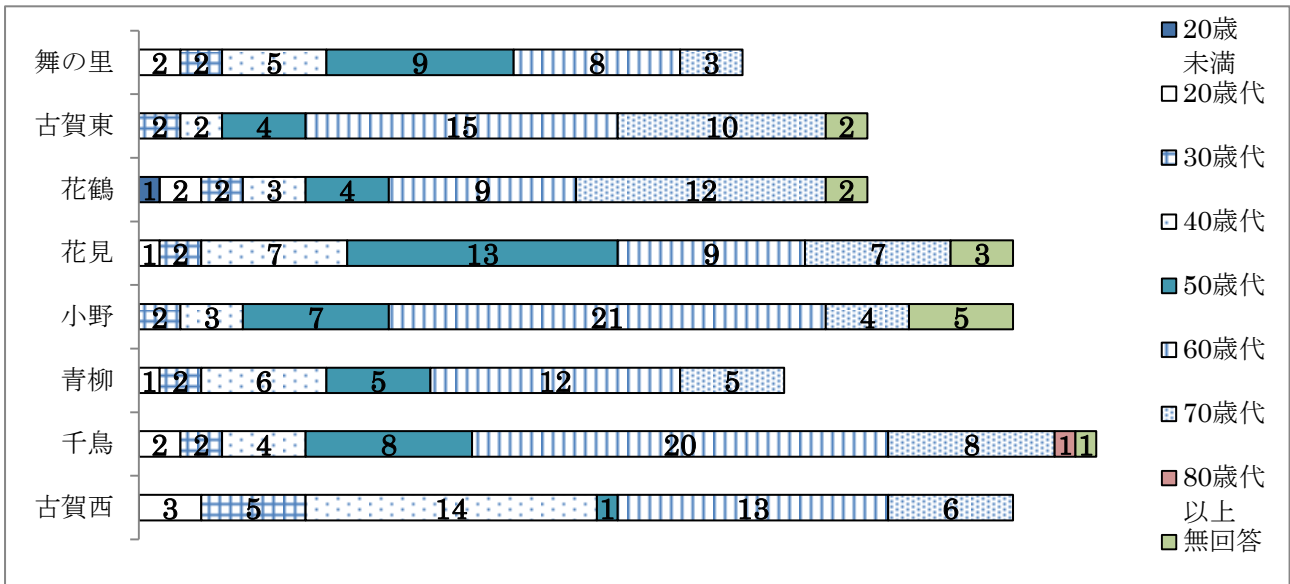
(4) 参加者について

	参加者数
舞の里	29
古賀東	35
花鶴	35
花見	42
小野	42
青柳	31
千鳥	46
古賀西	42
計	302

グラフ1 性別参加者数（グラフは割合による表示）



グラフ2 年代別参加者数



グラフ3 参加のきっかけ

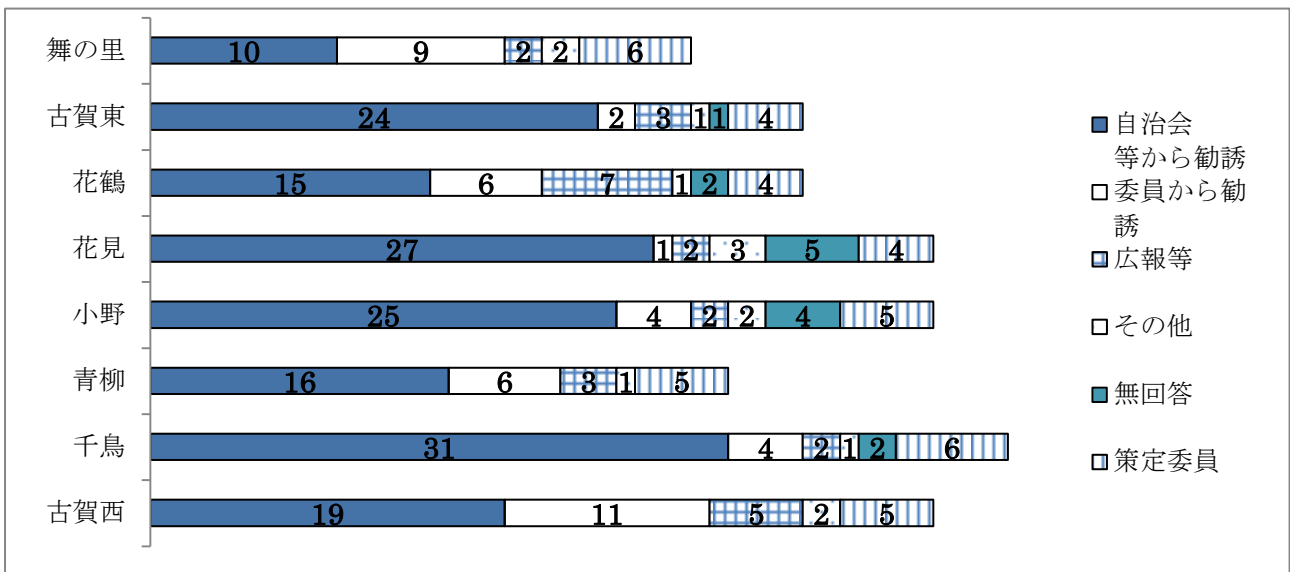


表 行政区ごと参加者数

	行政区	舞の里	古賀東	花鶴	花見	小野	青柳	千鳥	古賀西
東 (7)	筵内		3						
	久保		5						
	久保西		4	1					
	庄北	2	7			1		1	1
	庄南	3	6	2	2	1	1		2
	古賀団地		4					1	
	中央		3						
西 (5)	古賀北	1	1	1	1	1	1	1	7
	古賀南								5
	中川								4
	鹿部			3	1			1	9
	日吉台					1			6
青柳 (6)	新原						3		
	今在家						4		
	青柳			1			5		
	小竹						3		1
	町川原1					1	6		
	町川原2					1	2		
小野 (5)	谷山					8	1		
	小山田					5			
	薬王寺					5			
	米多比					5			
	薦野					10			
花鶴 (6)	古賀東			7			1		1
	花鶴丘1丁目		1	5		1	1		
	花鶴丘2丁目1			2					
	花鶴丘2丁目2			2					
	花鶴丘2丁目3			5					
	花鶴丘3丁目			4					
千鳥 (8)	病院							2	
	千鳥北	1					1	5	
	千鳥南							12	
	千鳥東	1					1	7	
	さや団地							2	
	高田							3	
	千鳥タウンコート							4	
	東浜山団地							4	
舞の里 (5)	舞の里1	1							1
	舞の里2	2							
	舞の里3	5							
	舞の里4	4					1		
	舞の里5	10						1	1
花見 (4)	花見南				8				1
	花見東1				24				
	花見東2				3				
	北花見				1				
その他(無回答含む)		0	1	1	2	2	0	2	3
計		30	35	34	42	42	31	46	42

(再掲)

校区内	22	32	25	36	33	23	39	31
校区外計(再掲)	8	3	9	6	9	8	7	11

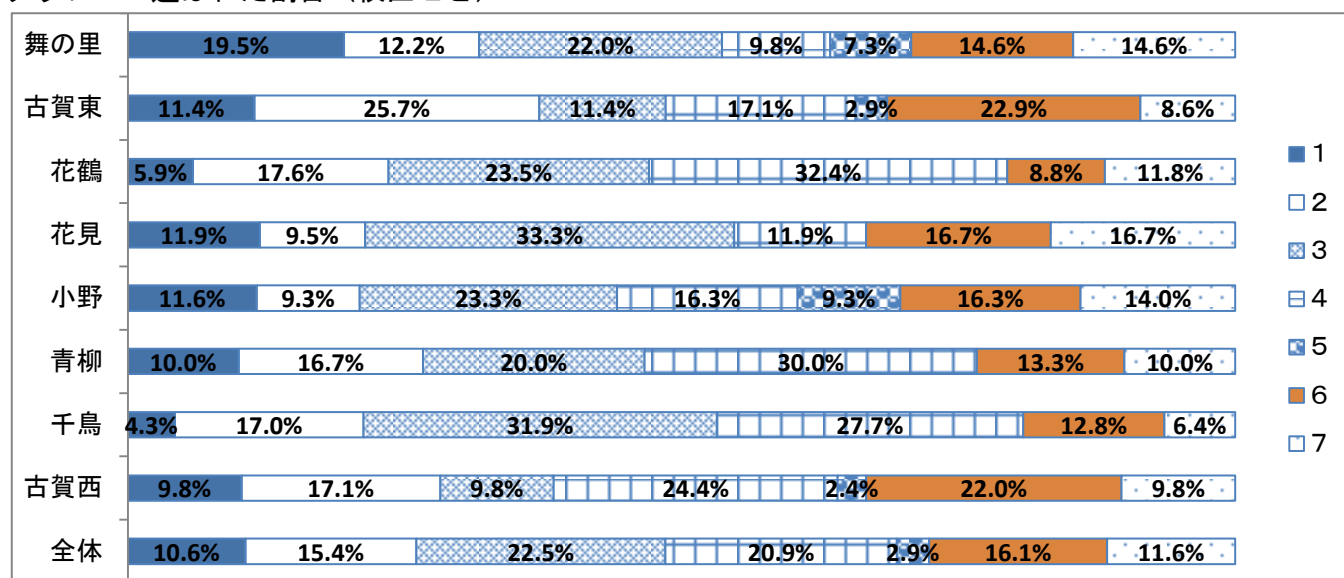
2. まちづくりのキーワード集計

(1) 選ばれた数

まちづくりのキーワード	全体	舞の里	古賀東	花鶴	花見	小野	青柳	千鳥	古賀西
1 まちのことを知る、「古賀学」	33	8	4	2	5	5	3	2	4
2 多様な人のつながり・交流、「組愛」	48	5	9	6	4	4	5	8	7
3 安全と安心、助け合い・思いやり	70	9	4	8	14	10	6	15	4
4 まちの活気、産業	65	4	6	11	5	7	9	13	10
5 まちづくり、自由に色々企画できる雰囲気	9	3	1	0	0	4	0	0	1
6 住んで良かったといえるまち、住みたいまち	50	6	8	3	7	7	4	6	9
7 次世代にバトンタッチできるまち	36	6	3	4	7	6	3	3	4

※校区の合計が参加者数と一致しない校区あり

グラフ4 選ばれた割合（校区ごと）



(2) まちづくりのキーワード 選ばれた順

	全体	舞の里	古賀東	花鶴	花見	小野	青柳	千鳥	古賀西
1位	3	3	2	4	3	3	4	3	4
2位	4	1	6	3	6	4	3	4	6
3位	6	6	4	2	7	6	2	2	2
4位	2	7	1	7	1	7	6	6	1
5位	7	2	3	6	4	1	1	7	3
6位	1	4	7	1	2	2	7	1	7
7位	5	5	5	5	5	5	5	5	5

市全体では、1位が「3. 安全安心、助け合い・思いやり」、2位が「4. まちの活気、産業」となった。また、3位・4位がほぼ同数で「6. 住んで良かったといえるまち、住みたいまち」、「2. 多様な人のつながり・交流、「組愛」」となった。

3. 各校区まとめ

(1) 舞の里校区

日時	平成27年8月28日(金) 19:00~20:30
会場	舞の里小学校会議室
参加者	29人【一般参加者21人、策定委員8人(一般参加の策定委員2人を含む。)]

①「古賀市のまちづくりのキーワード」で最も共感した、良いと思ったキーワードと理由

表(1)-1 まちづくりキーワードを選んだ人数

まちづくりキーワード	1班	2班	3班	4班	合計
1 まちのことを知る、「古賀学」	1	2	2	3	8
2 多様な人のつながり・交流、「組愛」	1	2		2	5
3 安全と安心、助け合い・思いやり	2	3	3	1	9
4 まちの活気、産業	2	2			4
5 まちづくり、自由に色々企画できる雰囲気	1	2			3
6 住んで良かったといえるまち、住みたいまち	1	1	3	1	6
7 次世代にバトンタッチできるまち	3	1	2		6

表(1)-2 まちづくりキーワードを選んだ理由(抜粋)

まちづくりキーワード	選んだ理由 [凡例] ○積極的理由/△消極的理由
1 まちのことを知る、「古賀学」	○歴史を学ぶことで新しい発見ができ、よりまちを好きな人が増える ○古賀のよい点を発掘し、共有する
2 多様な人のつながり・交流、「組愛」	○人と人とのつながりから新しいことが生まれる △舞の里は横のつながり、地域との結びつきが弱い。仕組みが必要
3 安全と安心、助け合い・思いやり	○高齢化に伴い、共助できる社会。助け合いが必要 ○独居の方を支援 ○子ども達が安心して暮らせるまちにしたい
4 まちの活気、産業	△古賀市の産業は何?共有できていない △駅前商店街をどうにかして欲しい
5 まちづくり、自由に色々企画できる雰囲気	○地域の年齢層に合わせた企画づくりで活気のあるまちに ○企画事業をしたら仲間作りなどができる
6 住んで良かったといえるまち、住みたいまち	○自信を持って他の人にいいまちですよと言えるまちにしたい ○子育てしやすいまち、年をとっても住みやすいまち ○総じて住んで良かった、住みたいまち
7 次世代にバトンタッチできるまち	○子どもや孫が定住するまちをつくる ○若い方とも一緒にがんばって、先輩の皆様とも活動したい ○まちが持続するために
その他	△この中には古賀に固有の事がない

②今後、5年、10年先も、この地域が住みやすい地域であるために、活かしたいよいところや、解決したいこと

表(1)-3 各班の主なご意見等

班	意見等
1班	<p>(活かしたいよいところ・解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> 古賀には活かしたいよいところがたくさんあるのに、活用・共有できていない <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> 古賀に住んで良かったとなかなか感じられない 若い人が住みたくなる施策を
2班	<p>(活かしたいよいところ・解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> よいところの裏には、必ず悪いところがある。悪いところの逆からみると良くなる [インフラ]交通の便はいいが、スーパーがなくなるという問題がある [歴史]舞の里は歴史は浅く神社がないのはさみしいが、しがらみがないのは良い [人のつながり]子ども会に入る人が減っているが、同好会ができています [人材]高齢化しているが、色々な能力をもった人の活用ができる
3班	<p>(活かしたいよいところ・解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動している・したいと思っている人が他の地区より多い(ほっこり倶楽部など) <p>反面、共働が少ない。市民の意欲を活かすシステムがない・知られていない</p> <p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 親密な近所づきあい、そうじにほぼ全戸が出るので不参加費を徴収しない信頼関係がある 住環境が良い 障がい者に気を使ってくれる <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通の便が悪い(バス本数少ない、自転車移動が大変) <p>(住民が楽しくなるには)</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの健全育成など社会貢献に関わる
4班	<p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然や農業が古賀の特色。新宮や福津の真似をする必要はない。他市にない自然や農業を活かす発想をすべき 大都市福岡の近郊にある利便性と自然・田園風景 <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化や住民交流の問題解決にはお金が必要。豊富な人材を活かすには単なるボランティアでなく官民が費用を抑えたり新しいアイデアを出したりすること 古賀市としての「よいまち」の定義など、もっと議論すること 様々な経験・知識を持った優秀な人材が多いが活かさきれていない

(2) 古賀東校区

日時	平成27年8月29日(土) 10:00~11:30
会場	古賀市公民館久保分館
参加者	35人【一般参加者31人、策定委員4人】

①「古賀市のまちづくりのキーワード」で最も共感した、良いと思ったキーワードと理由

表(2)-1 まちづくりキーワードを選んだ人数(班ごと・合計)

まちづくりキーワード	1班	2班	3班	4班	5班	合計
1 まちのことを知る、「古賀学」	1		1		2	4
2 多様な人のつながり・交流、「組愛」	2	2	1	3	1	9
3 安全と安心、助け合い・思いやり			2	2		4
4 まちの活気、産業	1	3	1		1	6
5 まちづくり、自由に色々企画できる雰囲気					1	1
6 住んで良かったといえるまち、住みたいまち	3	1	2	1	1	8
7 次世代にバトンタッチできるまち		1		1	1	3

表(2)-2 まちづくりキーワードを選んだ理由(抜粋)

まちづくりキーワード	選んだ理由〔凡例〕○積極的理由／△消極的理由
1 まちのことを知る、「古賀学」	○市全体について市民が知識を共有することが大切 ○まちを知らないと色々できない △知らないことが多い、良い所を知らない
2 多様な人のつながり・交流、「組愛」	○すべてのまちづくりの基本 ○地域のつながりが大事 △行事の参加者が少ない △区、組からの脱退、つながりがなくなっている
3 安全と安心、助け合い・思いやり	○助け合い・思いやりで人間性を育てることが全ての基本 ○助け合い、思いやりのあるまちに ○高齢化しているため、区内の助け合いが緊急課題
4 まちの活気、産業	○まちの活気＝産業の発展 ○まちの活気があれば魅力を感じる、明るくなる ○人が集まり、子どもが増えることで発展 △今の古賀市に活気がない
5 まちづくり、自由に色々企画できる雰囲気	○自由に企画できるとよい
6 住んで良かったといえるまち、住みたいまち	○住んでよかったと思える→郷土愛も生まれる ○若い人に定住してもらうことが重要 ○オンリーワンのまちづくり、自慢できるまちに
7 次世代にバトンタッチできるまち	○次世代に思い出を創れる大人の多いまちに ○つながりを維持するための組織づくり

②今後、5年、10年先も、この地域が住みやすい地域であるために、活かしたいよいところや、解決したいこと

表(2)-3 各班の主なご意見等

班	意見等
1班	<p>(活かしたいよいところ・解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が良い反面、スーパーが遠い、農村部から市街地へのアクセスが不便 ・海も山も川もあり、緑も豊かで安全。自然も歴史も豊かだが、観光地としてPR不足 <p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流がよく行われている。古賀東校区は見守り隊の活動が非常に充実している。学校でもえんがわくらぶとの交流がさかん。 <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家が増えている。組に入らない若い世帯が増えている。 ・子どもが歩いて行ける範囲に外遊びができる広場がない →地域の公民館に長期休みや土日に1人常駐のスタッフをおき、子どもに開放して、児童館+公民館のような施設にして欲しい。子どもたちの遊び場兼世代間交流の場
2班	<p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政区での大人と子どもの交流教室など地域活動が盛ん。継続したい ・日本一になった技術力を持つ企業、食品加工団地の出荷額が県内2位 <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化対策 ・駅前再開発、インター周辺再開発、企業誘致、産学官連携を含めた取り組みを ・魅力あるまちづくり、オンリーワンのまちづくりにみんなで取り組んでいければよい(スイーツコーン等の特産物づくり、古賀市の明るいニックネーム) ・校区コミュニティの今後の進め方を明確に ・課題や解決策が共有されていない ・まちの魅力が磨かれていない
3班	<p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然に恵まれている(山と海がある) ・広域の交通利便性がよい(JR3駅、インターなど) ・人情味が豊か <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域が高齢化していて役員のなり手がいない →活動する人が減少しており自治会活動の内容を変える必要あるのでは →行政区とコミュニティの二重構造 ・地域の交通が不便。特に山の方は高齢化し、車に乗らない人の問題あり ・文化財の保存・保管が不十分 ・空き家増えている ・商店街活性化

4班	<p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政区の行事が盛り上がり、継続している。行事を通じて人間関係ができたり、楽しみにしている人が多い ・隣近所で仲が良い ・地域や古賀市のことを真剣に考えている人が多い ・海岸など良い環境をもっと活かしたい ・高速道路など交通利便性の高さを活かしたい <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティの現状として自治会加入率の低下や横のつながりが減ってきている。自治会に入る案内などを市役所に手伝ってほしい ・地域の役員のなり手がなく、このままではコミュニティが消滅しないかと心配 ・高齢になって車に乗らなくなった時の移動に心配がある ・環境美化、大根川は荒れ放題なのできれいにしたい。県と市にがんばってほしい <p>(問題解決について面白かった意見など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政区内で空家が目立っているので若者に入居してもらおうなどの取り組みができないか ・古き良きことを継続するとしても、現在の環境になじまないことは改めていったらいいのではないか ・子ども中心の行事が増えたら、若い世代の参加も増えるのでは
5班	<p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区、行政区で地域活動があり、人が集まる。地域でつながることは子どもたちにとってもよい ・地域に公園が多い ・JR 駅3つ、国道、県道、インター、西鉄バスなど、交通網が発達している <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画から関わる人は限られる。企画から片付けまでみんなのできるように ・子どもが遊ぶ場所がない。自由に遊べる広場がほしい ・古賀の知名度が低くさみしい。工業団地もあるのに発展が止まっている ・高齢者の一人暮らしで子どもと離ればなれ。それを地域でどう支えるか ・高齢化しているが山手はコミュニティバスがなく買物に行けない

(3) 花鶴校区

日時	平成27年8月29日(土) 19:00~20:30
会場	古賀東区公民館
参加者	35人【一般参加者31人、策定委員4人】

①「古賀市のまちづくりのキーワード」で最も共感した、良いと思ったキーワードと理由

表(3)-1 まちづくりキーワードを選んだ人数(班ごと・合計)

まちづくりキーワード	1班	2班	3班	4班	5班	合計
1 まちのことを知る、「古賀学」	1				1	2
2 多様な人のつながり・交流、「組愛」		1	1	2	2	6
3 安全と安心、助け合い・思いやり	1	2	3	1	1	8
4 まちの活気、産業	3	3	2	1	2	11
5 まちづくり、自由に色々企画できる雰囲気						0
6 住んで良かったといえるまち、住みたいまち	1			1	1	3
7 次世代にバトンタッチできるまち	1	1	1	1		4

表(3)-2 まちづくりキーワードを選んだ理由(抜粋)

まちづくりキーワード	選んだ理由〔凡例〕○積極的理由／△消極的理由
1 まちのことを知る、「古賀学」	○古賀市の実態や地域の状況(産業・経済・地域の特色等)を学習し、まずは古賀を知ることから
2 多様な人のつながり・交流、「組愛」	○いろいろな能力をもった人の活用が、まちづくりになる △何の行事をしても決まった人しか参加しない。住民同士の交流が少なくなってきた
3 安全と安心、助け合い・思いやり	○高齢化が進む中で助け合いが必要。地域防災力の向上につながる ○認知症のお年寄りなどこれから増え続けるお年寄りの見守り △校区で新しいまちと古いまちが混在しているため活動がうまくいかない。若い層と高齢者の助け合いが難しい △安全と安心が大事。助け合い・思いやりを望んでいるか?
4 まちの活気、産業	○財政基盤である ○生活の基盤としての産業(雇用)が必要 △まちの活気がない。まちの中心に工場がありすぎる △福津、新宮、両市町が発展し、古賀の活力不足を特に感じる
5 まちづくり、自由に色々企画できる雰囲気	
6 住んで良かったといえるまち、住みたいまち	○住んで良かったと言えるよう、みんなで協力できるコミュニティをつくれるまちの規模
7 次世代にバトンタッチできるまち	○1~6の内容を充実させる目的が7。私の子ども達は古賀を自分の故郷と思ってくれるだろうか △まちづくりの担い手が固定化していると感じる。現在の充実した担い手から次の世代へと、どうバトンを渡していくか、今から考えないと

②今後、5年、10年先も、この地域が住みやすい地域であるために、活かしたいよいところや、解決したいこと

表(3)-3 各班の主なご意見等

班	意見等
1班	<p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境は素晴らしい。しかし、それ以外ない ・伝統行事、地区ごとに個性がある。伝統的な行事(校区の祭り等)を守っていききたい ・ボランティアが活発 <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路整備の問題。自動車が通りにくい ・市内交通の不便 ・美明の調整池が汚い ・花鶴3号公園が整備されていない →利用する人が整備してはどうか?(ゲートボール場等) ・「中コミ」を充実させる。 →市からの活動費が少ない(宗像市は充実している) ・地域活動に対する市の助成強化、各種団体の交流の場(施設)が不足 ・市の規模に対して商業施設が少ない ・ボランティア活動の支援が必要
2班	<p>(活かしたいよいところ・解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見をまとめるキーワード:「ハブ&スポーク」 ～古賀はハブは充実しているが、スポークがない →大きなものはあるが、きめ細かなものが欲しい <p>〔ハブは充実〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境、歴史遺産 ・文化施設(大きなハコモノは人口の割には充実) ・交通(3号線、高速道路インター、JRは快速が停まる、広い県道) ・古賀市全体が健康に気をつけている <p>〔ただしスポークがない〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きなハコモノがある割には、各地域の公民館などのコミュニティ施設等、高齢者等が歩いて数分で行けるところの施設が充実していない ・まちのために何かしたいと思っている人がいるが、拠点となる公民館が使いづらい(使用する場合のみ鍵を開けている) ・交通は大動脈が通っているが毛細血管がない。久山町には小さいバスが走っている。篠栗町は無料のバスが町中を走っている

3班	<p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境が豊か。大根川は古賀市に源流（起点）から河口（終点）までを持っており、何とか活かしたい ・人のつながりは活かしたい。祭りなどにぎやか ・自由に参加できる行事などでは参加者は多い ・ごみの分別収集 <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路整備～JR 駅周辺の道路が狭く、歩いていても危険（通学路も変更） ・役員のなり手がいない。役員の問題を解決しないと自治会活動が立ち行かなくなる ・近所の空き家を見守っているが、今後空き家が増えていくと地域ではできないことも出てくる ・コミュニティと自治会がよくわからない ・宿泊可能な研修施設
4班	<p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花鶴校区はコミュニティを中心に非常にまとまりがよい。何かをやると人が集まる ・地域活動が活発で熱心な方がたくさんいる（福祉活動、見守り活動など） ・自由な発想や意見は言いやすい。行動している人もいる <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人が後を継いでくれるかが心配。 ・若い人達の地域活動への関心や参加が少ない ・高齢化が進み、活動に支障がある ・プライバシー保護のために隣近所の関わりが薄れている ・役員が固定化している。なり手がいない ・新しく古賀に来た人が、古賀を知る機会が少ない
5班	<p>(活かしたいよいところ・解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か～山あり川あり海あり <p>〈反面〉山も川も海もあるだけ。利用できていない（施設の整備など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近所づきあいが非常によい。花鶴校区はつながりもある <p>〈反面〉高齢化が進んでいて、自治会活動の10年先の見通しがたたない（不安）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員のなり手がいない ・まちづくりに関わるのにハードルが高い～知らない。きっかけがない <ul style="list-style-type: none"> ・交通の便～高速、3号線、JRがある（以前は西鉄も） <p>〈反面〉これらもあるだけ。ほとんど通りすがり（通過交通）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者など買い物難民の問題。今後ますます大変になる ～大きな商業施設でなく昔の八百屋さんのような身近なお店が必要

(4) 花見校区

日時	平成27年8月30日(日) 19:00~20:30
会場	花見東一区自治公民館
参加者	42人【一般参加者38人、策定委員4人】

①「古賀市のまちづくりのキーワード」で最も共感した、良いと思ったキーワードと理由

表(4)-1 まちづくりキーワードを選んだ人数

まちづくりキーワード	1班	2班	3班	4班	5班	6班	7班	合計
1 まちのことを知る、「古賀学」	2		1	1			1	5
2 多様な人のつながり・交流、「組愛」		1	1			2		4
3 安全と安心、助け合い・思いやり	1	2	1	2	4	2	2	14
4 まちの活気、産業	2	1					2	5
5 まちづくり、自由に色々企画できる雰囲気								0
6 住んで良かったといえるまち、住みたいまち		2	2		2	1		7
7 次世代にバトンタッチできるまち	2	1		3		1		7

表-2 まちづくりキーワードを選んだ理由(抜粋)

まちづくりキーワード	選んだ理由〔凡例〕○積極的理由/△消極的理由
1 まちのことを知る、「古賀学」	○今の古賀市を知ること目指すものが見えてくる △長く住んでいるのに地域の事をよく知らない
2 多様な人のつながり・交流、「組愛」	○地域の人たちや世代の違う人たちとのコミュニケーションがとれるまちづくり △自己中心的な人が多い。地域の交流会など参加が少ない
3 安全と安心、助け合い・思いやり	○シルバーの方の助けで小学校の登校で助かっている。高齢者が増える中、みんなの顔がわかることが大切 ○子育てに安全、安心は必要で、永く住むためには助け合い、思いやりも大切 ○基本的に安全でなければ、地域のまとまり、発展はないと思う ○災害時の対応
4 まちの活気、産業	△店がなくなっていく △勤務先が市外に多く、就職先を市として考えるべき
5 まちづくり、自由に色々企画できる雰囲気	
6 住んで良かったといえるまち、住みたいまち	○この町を住居として選んだ以上、住んで良かったと思える町であってほしい ○これからもずっと住みつづけるので、住んで良かったといいたい
7 次世代にバトンタッチできるまち	○世代間の知恵や経験がつながる場があれば ○地域活動の参加者に若い世代が少ない。古賀を発展させていくには引き継いでいくことが大切 ○自分たちの子ども世代が生き生きと安心して暮らせるようにしたい

②今後、5年、10年先も、この地域が住みやすい地域であるために、活かしたいよいところや、解決したいこと

表(4)-3 各班の主なご意見等

班	意見等
1班	<p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海～もっと市民が親しみやすい整備を。それにより、もっとかがやく ・海と山が繋がった古賀をアピールすべき <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通～福津から抜ける道が混む。交通の便がよいため問題 ・公園が少ない～大きな空き地があるので行政が動いて市民に開放を ・自治会で、組により活動が活発なところとそうでないところがある(組のバランスが悪くなっている) ～高齢化が主な原因。みんなで考えていきたい ・防犯カメラの設置
2班	<p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然豊か ・交通の便が良い ・いろいろな人がいる(人材が豊富) ・地域の人のパワー(見守り隊、松林の手入れ、花の世話) <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古賀市のイメージが暗い ・名所がない ・まちづくりに統一感がない ・西鉄の跡地を有効利用してほしい(道路など) ・公園が少ない ・車がないと生活できない
3班	<p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か(海など) ・東病院があるので安心 ・ボランティア活動 ・交通の便がよい <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化しているので、ボランティア団体などをつくり、助け合い、一人暮らしをのうを助けたりできないか? ・西鉄跡地を公園の森や、散歩公園にしたい ・花鶴川の沿線をサイクルロードや歩道に整備したい ・近所に生活用品が買い物できる小さなスーパーや商店街を ～高齢化していくため徒歩でいけるところ ・海が近いのにイベントがないのはもったいない。 ・道路…花見東3丁目は行き止まりで通り抜けできない。2丁目は狭くて通りにくい

4班	<p>(活かしたいよいところ←→解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然が多い(海、山)、松林がきれいになって散歩できるようになった ・交通の便が良い←→朝夕抜け道になり危険 ・地域活動に積極的な方が多い ←→若い人の参加が少ない、お祭・イベントが少ない ・食品加工団地が出荷額2位、日本一の技術をもつ企業←→知らない(アピールが必要) ・地域のあいさつ活動、見守り活動があるのがよい ・地域公民館の活動 <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近所に大きな公園や集まれる施設、遊べる広場がないのを改善してほしい
5班	<p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花見校区夏祭り、運動会、区の定期的な行事・イベント。コミュニケーションができるのでよい。みんなのつながりができてよい ・高齢者の知恵を次世代へつなぐ ・公園を早急に実現したい <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園など、子どもが安心して遊べる環境づくりをしてほしい ・小学生の安心な通学路を整備してほしい ・西鉄跡地の利用方法は意見バラバラだが、今後共通の意見を持ちたい ・千鳥駅前が暗い ・高齢者の外出促進
6班	<p>(活かしたいよいところ・解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活環境としては現状に満足している。ただし、場所により道が狭かったりする。安全な生活道路をつくる方向に <p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区内でのコミュニティ活動はさかん。校区同士の交流がもっとあった方がよい ・行政区の行事に理解がある(運動会、文化祭等への積極的な協力) ・松林の保全、海岸の清掃への協力 <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区コミュニティの後継者が不足するのではないかという不安 ・健康寿命の延伸
7班	<ul style="list-style-type: none"> ・どういうふうに自治基本条例ができるのか、今日のミーティングがどう反映されるのかが不明 <p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政区と区民のつながり強い ・松林 ・住みやすい ・企業、病院などが身近にある ・地域のまとまりがよい <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古賀駅周辺の再開発 ・若者雇用、若者流出対策 ・自治会未加入者の増加 ・独居高齢者の見守り活動の必要性 ・有害鳥獣の駆除 ・バスの運行状況 ・公園管理(の進め方)

(5) 小野校区

日時	平成27年8月31日(月) 19:30~21:00
会場	谷山区公民館
参加者	42人【一般参加者36人、策定委員6人(一般参加の策定委員1人を含む)】

①「古賀市のまちづくりのキーワード」で最も共感した、良いと思ったキーワードと理由

表(5)-1 まちづくりキーワードを選んだ人数(班ごと・合計)

まちづくりキーワード	1班	2班	3班	4班	5班	6班	合計
1 まちのことを知る、「古賀学」		1		1	2	1	5
2 多様な人のつながり・交流、「組愛」	1	1				2	4
3 安全と安心、助け合い・思いやり	4	2		1	2	1	10
4 まちの活気、産業	1	2	2	2			7
5 まちづくり、自由に色々企画できる雰囲気			2			2	4
6 住んで良かったといえるまち、住みたいまち	1	1	2		2	1	7
7 次世代にバトンタッチできるまち		1	1	3	1		6

表(5)-2 まちづくりキーワードを選んだ理由(抜粋)

まちづくりキーワード	選んだ理由〔凡例〕○積極的理由/△消極的理由
1 まちのことを知る、「古賀学」	○古賀市がどのようなまちなのか知ることによって発展させていく ○古賀市のそれぞれの地域に特色があり、互いに知ることが大切
2 多様な人のつながり・交流、「組愛」	○年少から高齢者までの交流、一人暮らしの方との交流ができ、困ることがないようにしていきたい
3 安全と安心、助け合い・思いやり	○防災、高齢化、独居が増えて情報共有が難しい。人命と個人情報保護 ○自身が高齢となり、ご近所とおつき合いの大切さを痛感しています ○高齢化が進む中、みんなの助け合いが必要ではないか？子育ても同様 △生活、まちづくりの基本。人間関係が希薄になっている
4 まちの活気、産業	○活気ある町なら市外からの人を多く呼び込める。産業が発展することで企業等の固定化ができ、人口増加になる △駅前通りなど、まちの玄関に活気のない雰囲気があるので、明るい元気な町になってほしい △他地区の人から古賀には何もないとよく言われる
5 まちづくり、自由に色々企画できる雰囲気	△企画を言える場がない △市の方針が最初から決まっていて、私達の意見はただ聞くだけ
6 住んで良かったといえるまち、住みたいまち	○まちづくりの基本だから △今、そのような町になっているか疑問を感じるから。そんな町になってほしいと思うから
7 次世代にバトンタッチできるまち	○先祖から受けついで環境を維持したい △農家のみならず、家をついでくれる者が少ない

②今後、5年、10年先も、この地域が住みやすい地域であるために、活かしたいよいところや、解決したいこと

表(5)-3 各班の主なご意見等

班	意見等
1班	<p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の交流が豊か ・自然が豊か ・自動車交通が便利な住環境 <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会への理解不足。最近、加入者が減り、加入拒否者が増えている。役員のなり手が減少している ・自然の多さには、プラスだけでなくマイナス(災害の危険)もある ・元気な高齢者を増やしたい→集団検診を受けよう ・この地域では交通事情は古くて新しい問題～高齢化が進むので、なんとかしたい ・耕作放棄地の増加 ・農業の後継者問題 ・消防団員が増えない
2班	<p>(活かしたいよいところ・解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古賀の豊かな自然～活かしたい(ダム周辺の川、ホテル、浜の夕日がきれい) →子どもや市外の人達に宣伝を ・交通～JR古賀駅との行き来、高齢者の買い物・病院の行き来の利便性に問題 ・産業～出荷額No.2もっとPRすれば 古賀市の財源～商店街など市内でお金をつかうところを増やしていけばいい ・地域～地域の方の心があたたかい(見守り隊など)→次世代につなげていきたい 地域の人材を活かした企画があればよい
3班	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の意見だけでなく、市職員、市議の意見も聞きたいし、それらもすり合わせて条例づくりをしていくのが良い ～8年前のミーティングが一方通行で反映されていない ～市民と市職員の分業(住み分け)が不明確 <p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の自然・景観を残したいが、そのためには皆さんの協力が必要 <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通の不便さ ・耕作放棄地 ・要望を出す場がない

4班	<ul style="list-style-type: none"> • 自然が多いが、ある意味、地元の人ほうんざりしている • 「まち部」と小野校区は違う • 古賀市全体として、自治会費が地域ごとに違う <p>(活かしたいよいところ・解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 小野校区は多世代同居が多い一方で、独居高齢者も増えている。市場原理だけではない交通網の構築が必要 • 地域の連携 • 農業振興 • 消防団活動 • 文化財 <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 子ども会の活性化。昔は1校だった中学校が3つに分かれてから、市全体を知っている人が少なくなった • 駅の周りの近代化、商店街の活性化、山林の荒廃、農地の賃貸のしくみがバラバラ
5班	<p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自然環境を残したい。伝統行事が豊かな自然に根付いている • 小野校区は、地域住民のつながりが重んじられている。小山田で初の集落排水～地域の団結力は残していきたい • 野幸山幸小野まつりや運動会などの地域行事、コミュニティの充実のための勉強会 <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自治会の加入の問題 • 高齢化の進行が関連する諸問題（独居高齢者、防災など） • 地域の世話役や役員のなり手が少ない（育成会、老人会など） • 行事に加わらない人がいる • 市から自治会などに依頼される業務が増えてきている • 土手の改修など、要望に対して行政の対応が遅い • 公共交通の問題（バスなど）
6班	<p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自然環境、伝統、歴史が財産である • 三世帯同居が多い。そのため、地域の間人関係が残っている <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> • ハード面：インフラ（交通手段）～市全体から見て小野校区は遅れている <p>(これから地域を盛り上げていくためには)</p> <ul style="list-style-type: none"> • ひと、もの（場所）、かねが大きい <p><キーワード>「内なる分権」 ～行政から地域にやれることを分割し、地域がやれることを拡大し、活性化する</p>

(6) 青柳校区

日時	平成27年9月4日(金) 19:00~20:30
会場	青柳区公民館
参加者	31人【一般参加者26人、策定委員5人】

①「古賀市のまちづくりのキーワード」で最も共感した、良いと思ったキーワードと理由

表(6)-1 まちづくりキーワードを選んだ人数(班ごと・合計)

まちづくりキーワード	1班	2班	3班	4班	合計
1 まちのことを知る、「古賀学」		2	1		3
2 多様な人のつながり・交流、「組愛」	2			3	5
3 安全と安心、助け合い・思いやり	4	1		1	6
4 まちの活気、産業		2	4	3	9
5 まちづくり、自由に色々企画できる雰囲気					0
6 住んで良かったといえるまち、住みたいまち	2		2		4
7 次世代にバトンタッチできるまち		3			3

表(6)-2 まちづくりキーワードを選んだ理由(抜粋)

まちづくりキーワード	選んだ理由〔凡例〕○積極的理由／△消極的理由
1 まちのことを知る、「古賀学」	○長所短所、便利不便などわかった上で、足りない所をしっかりと考える ○より良いまちにするには、現状をくわしく知らないと、その変化・効果、目標などがわからないから
2 多様な人のつながり・交流、「組愛」	○市内には既存の多様な活動をされている個人や団体が少ない印象ですが、情報共有やネットワーク化されていないシーンを多々見聞きするので ○人と人がつながることがすべての基本
3 安全と安心、助け合い・思いやり	○年を取っても、障がいがあっても、安心して暮らせるまちが大切 △行事ごとがある時には、僕はダメ、私はできないなど、思いやりがないと思う
4 まちの活気、産業	○まちの活気、産業により、税収増による自立の町 ○高速道を利用して産業を活気づけられないか。3号線沿いの田んぼなどもっと利用できるのではないかな △若者の支持を得られるような雇用の現状が気になった
5 まちづくり、自由に色々企画できる雰囲気	
6 住んで良かったといえるまち、住みたいまち	○新住民と旧住民がおられ、住みやすい町、住みたい町が大切 ○ふる里と言えるまち(将来子ども達が大きくなっても)
7 次世代にバトンタッチできるまち	○次世代に上手にバトンタッチするために1~6のことがあると思う

②今後、5年、10年先も、この地域が住みやすい地域であるために、活かしたいよいところや、解決したいこと

表(6)-3 各班の主なご意見等

班	意見等
1班	<ul style="list-style-type: none"> ・「解決したいこと」が少なく、「活かしたいよいところ」が多いのは良かった。ネガティブに考えるとキリがない (活かしたいよいところ) <ul style="list-style-type: none"> ・伝統行事を核にしてつながる地域コミュニティをつくっていこうという気運があり、それができている。(仲間力、地域力) ・風土を活かした子育て環境づくり ・地域が子どもを育てる地域のあり方 (解決したいこと) <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりに住民の意見を取り入れて欲しい ・農業の後継者不足 ・住民の横のつながりが大切。新住民の方々が組合になかなか加入しない(防災対応が難しい)
2班	<ul style="list-style-type: none"> (活かしたいよいところ・解決したいこと) <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランが進んでいない ～古賀の良い所としてインター、工業団地、自然、歴史などがあるが、市街化調整区域があり、人が入ってこられないという現実もある ・市街化調整区域の外に家が点在していて、バスが少なく交通が不便 ・新宮町は駅前のイケアなど発展している ～古賀は、古賀駅周辺や3号線沿いなどがさびれている ←→反面、田んぼや自然があるのがよい
3班	<ul style="list-style-type: none"> (活かしたいよいところ) <ul style="list-style-type: none"> ・自然が多い、田んぼが多い、子どもが素直 ・市外への交通が便利 (解決したいこと) <ul style="list-style-type: none"> ・交通事情 ～高齢者などが不便。使いやすい交通機関がほしい(新宮には100円バスなどある) ・住宅と工業地、農地の混在 ・子どもの数が少ない
4班	<ul style="list-style-type: none"> (活かしたいよいところ) <ul style="list-style-type: none"> ・立地…勝手に周り(新宮、福津)が栄えていて、一足のばせば良いので便利 ・高速など車の便利も良い。福岡と北九州の間にある。交通の要所 ・地域のつながりが濃く、自治会活動が活発 ・価値ある歴史遺産 ・工場団地がある (解決したいこと) <ul style="list-style-type: none"> ・交通…九州自動車道より南は買い物などで交通が不便。 ・バス本数少ない。車がないと移動できず、高齢者には厳しいのは問題 ・推せるモノ(古賀を代表するブランド)が欲しい ・行政が特徴ある町づくりに取り組んで欲しい ・保育所が少ない

(7) 千鳥校区

日時	平成27年9月5日(土) 19:00~20:30
会場	古賀市社会福祉センター千鳥苑
参加者	46人【一般参加者40人、策定委員6人】

①「古賀市のまちづくりのキーワード」で最も共感した、良いと思ったキーワードと理由

表(7)-1 まちづくりキーワードを選んだ人数(班ごと・合計)

まちづくりキーワード	1班	2班	3班	4班	5班	6班	合計
1 まちのことを知る、「古賀学」			1	1			2
2 多様な人のつながり・交流、「組愛」	1	1		2	3	1	8
3 安全と安心、助け合い・思いやり	2	3	1	2	4	3	15
4 まちの活気、産業	1	4	4	2		2	13
5 まちづくり、自由に色々企画できる雰囲気							0
6 住んで良かったといえるまち、住みたいまち	1		1	3		1	6
7 次世代にバトンタッチできるまち	1			1		1	3

表(7)-2 まちづくりキーワードを選んだ理由(抜粋)

まちづくりキーワード	選んだ理由〔凡例〕○積極的理由/△消極的理由
1 まちのことを知る、「古賀学」	○古賀をよく知らない。良いところをもっと知ってPRしていきたい
2 多様な人のつながり・交流、「組愛」	○人のつながりができていないと何もできない。色々な事の一歩始めの事 ○子ども達は友人が必要。見守ってくれる人がいると安心。ママ達もママ友や支援してくれる人、話を聞いてくれる人がいると安心。高齢者は話友達、支援してくれる人がいると安心
3 安全と安心、助け合い・思いやり	○千鳥校区コミュニティで既に実践しており、成果が出てきている ○福祉会が充実しており、福祉委員会が見回りを行っており良い事です ○自分が現在、色々な意味で自立できなく、助けてもらう側になることが多い ○いざという時に、家族・ご近所・組内など皆で助かるために
4 まちの活気、産業	○高齢者が多くなるため、気軽に買い物できる店がほしい △若者の定住できるまちづくりが大切。今は両サイドの町に活気をうばわれているようだ △イオンの閉店で車がないため買い出しに行くのも不便になりました。市全体に大型店がなく、市外でしか買物ができないのは本当に不自由
5 まちづくり、自由に色々企画できる雰囲気	
6 住んで良かったといえるまち、住みたいまち	○究極的には、住んで良かったといえるまち、住みたいまちづくりだと思ふ ○他市より移転してきたが、非常にまとまった地域だと思っている
7 次世代にバトンタッチできるまち	○ベッドタウンとして発展したように思える。若者がいなくなることが心配だ。バトンを受ける人が少なくなる ○次世代に引き継げなければ、1~6は意味がない

②今後、5年、10年先も、この地域が住みやすい地域であるために、活かしたいよいところや、解決したいこと

表(7)-3 各班の主なご意見等

班	意見等
1班	<p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千鳥校区はコミュニティ活動で自治会、福祉会を充実させながら、住み良いまちづくりをしてきている ・行政区の見守り隊の活動では高齢者と子どもの交流がある。今後も広げていきたい <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迷惑防止条例をつくっていただきたい(草刈など) ・行政区長会は平日昼間に開催され、現役世代の人が区長になれない。土日、夜間に開催し、若い人に区長になってもらえるようにすれば、校区の活性化になる ・自転車のマナーが悪い～安全運転を(許可証など) ・市内の交通網 ～地域：JR千鳥駅からタクシーもバスもない ～市全体：JR、3号線、高速があるが、市内では行きたいところへ行けない
2班	<p>(活かしたいよいところ・解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古賀市は住みやすい。交通の便がよい。ただし、車をもたない方は移動手段少なく大変(海側・山側の差が大きい) <p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り隊のコミュニケーションが活発 ・福祉会活動が活発 <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古賀駅前がさびれている。スーパーが撤退している ・工業団地のアピール ・条例による対立関係がないように気配りが必要 ・最近、自治会をやめる人がいる。深刻な問題で早く解決したい。自治会参加を促すなどの対策が必要
3班	<p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区コミュニティがしっかり活動している ・町内で行事に参加する人が少ないので、もっと参加できるようにしたい <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの本数が少なく路線が限られている。一方、高齢化が進んでいて、バス利用者が増えている→大型バスでなく、小型のコミュニティバスを(利用しやすい路線を) ・市内に買い物ができる店が少なくなっている。 ～新宮、福津の大型店舗に行っている。歩いて行けるところに店が欲しい ・小児科や時間外に診てもらえる病院が少ない ・市役所まで行かなくても書類がとれると良い

4班	<p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動が活発。校区の交流が多い。地域住民の仲が良い ・千鳥南区は区長の努力で活動が活発になってきている ・桜がすごくきれいで住みやすい ・組長制度は継続した方が区民とコミュニティの関係がより深まる <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の働く場所がない ・買い物できるスーパーが減っている ～地域のスーパーを住民が利用しないから→皆さんで利用しよう ・千鳥ヶ池の問題～藻が生えて水質悪化している ・バスの便が悪い
5班	<p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然が多い(山と海) ・地域活動がさかん。近所とのコミュニケーションがとれている。福祉会の活動 ・大きな交通網がある ・働く場所がある。病院が多くて救急対応(24時間対応)がある <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車が必要不可欠 ・子どもが遊べる公園が少ない ・街灯が少ない ・買い物難民がいる。12時まで空いているスーパーがほしい ・道が狭く、渋滞がある(特に駅への迎いの時など) ・障害者、高齢者の福祉を手厚くしてほしい ・小学校区(行政区)の境界が不自然 ・学校行事に参加する保護者が少ない
6班	<p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千鳥小、病院、クリニックがある ・千鳥南区は、みんなで食事して歌って楽しめる地域 ・福祉会、コミュニティ活動が活発 ・古賀の産物(農業、野菜) ・自然(海、山) ・高速道路などの交通網を活かしたい ・食品工業団地との企画、古賀ブランド <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千鳥駅、古賀駅周辺に何もなし。イベント会場がない ・家族で楽しめる公園がない、キャンプ場がない ・古賀市の行政の動きがわからない ・一人暮らしの高齢者が増えており、地域の見守りで民生委員、役員が大変になる ・空家を活用しリフォームして、若い人を増やしたい ・花火大会を復活してほしい ・市内の買物、交通の便の改善を。自転車のマナーが悪い ・観光資源を活かすのが下手

(8) 古賀西校区

日時	平成27年9月7日(月) 19:00~20:30
会場	古賀北区公民館
参加者	42人【一般参加者36人、策定委員6人(一般参加の策定委員1人を含む)】

①「古賀市のまちづくりのキーワード」で最も共感した、良いと思ったキーワードと理由

表(8)-1 まちづくりキーワードを選んだ人数(班ごと・合計)

まちづくりキーワード	1班	2班	3班	4班	5班	合計
1 まちのことを知る、「古賀学」	1	1	1	1		4
2 多様な人のつながり・交流、「組愛」	1	3	2	1		7
3 安全と安心、助け合い・思いやり	1		2		1	4
4 まちの活気、産業	2	2	1	2	3	10
5 まちづくり、自由に色々企画できる雰囲気					1	1
6 住んで良かったといえるまち、住みたいまち	1	2	1	2	3	9
7 次世代にバトンタッチできるまち	2		1	1		4

表(8)-2 まちづくりキーワードを選んだ理由(抜粋)

まちづくりキーワード	選んだ理由 [凡例] ○積極的理由/△消極的理由
1 まちのことを知る、「古賀学」	○まずは町のことを知ること。「自分の住む町はこういう町です」と言える事が、次世代の人にも町の色々な事を引き継げると思います
2 多様な人のつながり・交流、「組愛」	○希薄となった地域での人間関係、今の時代に合わせて再構築する必要があると思う ○校区を越えた交流。情報交換・提供
3 安全と安心、助け合い・思いやり	○行政ではできないことであり、地域のつながりに大切な目標と思う
4 まちの活気、産業	○まちの原資確保。活気、産業を大きく考えて △町の活気・産業の活性化が少し足りないと思った。国際化に伴い、魅力あるまちを目指していけば △古賀で楽しく遊び、たまには休日を古賀で過ごしたいから △産業が活性化しないとベッドタウン化し、地域のコミュニケーションがうまくできない
5 まちづくり、自由に色々企画できる雰囲気	△若い人や子育て世代の方々が自然発生的に企画・改善できる市へ
6 住んで良かったといえるまち、住みたいまち	○子どもたちが自信を持てる ○色んな「良かった」が集まる古賀になってほしい! ○博多から快速 20分で通勤できる自然豊かなのんびりした古賀市をアピールしないとったいない
7 次世代にバトンタッチできるまち	○古賀は、山、川、海のみちです。自然の力を生かすまちにするため、森や水田を生かしたい。森の循環 ○子どもの時に古賀でワクワクできたように、今の子どもたちにもワクワクさせてあげたい

②今後、5年、10年先も、この地域が住みやすい地域であるために、活かしたいよいところや、解決したいこと

表(8)-3 各班の主なご意見等

班	意見等
1班	<p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速インター、JR 駅、自然、子ども達を思う活動(西校区)がある ・好条件のインフラを活かした産業の発展 ・公民館を色んな団体が活用している <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買物するところが少ない。市内の交通の問題 ・行政・校区・地元地域がそれぞれやるべきことを考えるのが基本なのでは？ <ul style="list-style-type: none"> ・行政がやるべきこと…産業の活性化(知恵を絞って、汗を流して) ・校区がやるべきこと…各校区のやり方でやりつつ、他の校区のやり方も知る ・自治会…地元のコミュニティの充実を図る(公民館活動をさらに充実) <p>(条例づくりについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代が絶賛するルールでないと受け入れは難しい。年長者多数でルールを決めてはいけない。ルールを作ってしほりをむやみに作らないで
2班	<p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古賀は行事が多くて、地域で子どもから年配者まで関わりが多く、みんな楽しめるように一生懸命やっているところが良い →大変だが大事にしていきたい。行事があれば人が集まる ・自然が豊か ・すぐれた地域医療体制 <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少しの努力でまちが良くなり、住みよい古賀になると思う。少しずつの改善を(例)道路の改善、高齢者が利用しやすくなるようバス停に椅子を置く ・買い物難民 ・駅前再開発 ・地域活動の活性化
3班	<p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番多かった意見…人とのつながり ・他人への気遣い、人が優しいというのが、古賀の活かしたい魅力 ・自然が豊か ・食品加工団地があり、この特色を活かしたい <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化 <ul style="list-style-type: none"> ・外へ出ない方との交流 ・町内の行事がやりにくくなっている ・車がないと買物が不便 ・まちの活気 <ul style="list-style-type: none"> ・食事をする場所もない。お店が少なくまちがさみしい ・自然を守る体制づくり ・市町村合併で効率の良いまちづくり

4班	<p>(活かしたいよいところ・解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション、人とのつながり ・子どもの遊び場少ないが、地域の関わりは多い ・自然が豊か←→開発が遅れている(古賀駅周辺) ・交通の便：JR 駅3つ←→山の方はバスが少なく不便(地域により差がある) <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の問題…福津の人も知っている古賀の祭りを古賀の人が知らなかったりする
5班	<p>(活かしたいよいところ・解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が良く、人が集まる場所にあるのに、人が近隣市町に流れている ～市民、議会で意見を出し合い、人が増えて良くなるまちづくりを <p>(活かしたいよいところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が良い ～JR(快速が停まる、通勤通学に便利)、国道3号線、495号線(バスも多く便利)、高速(高速のバス停もあり) ・自然が豊か(海、山、温泉、田園地帯) <p>(解決したいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心部(JR古賀駅周辺)がさみしい ・買物できる場所…新宮、福津にはあるが、古賀市には少ない ・生活コストが若干割高。水道、小児医療、ゴミ袋



—未来につなげたい・伝えたい
私たちのまちの、
私たちによるまちづくり。

私たち古賀市自治基本条例（仮称）策定委員会は、10代～70代までの市民28人で、「自治基本条例（仮称）」＝「まちづくりのルール」を策定するため、話し合っています。

これまでの話し合いで「まちづくりのキーワード」を出し合ってきました。これは条文を考える上での基礎づくりとなります。そのため、より多くの人から、より多くのキーワードを集めたいと思っています。

今まで培ってきた地域活動の経験や子育てを通じて思うこと、また将来の古賀市を担うあなたの気持ちを、ぜひ私たちに教えてください。当日は5～6人ずつのグループを作って話し合います。

事前申し込み：不要

託児：各会場開催10日前までにご相談ください。

※駐車場に限りがあります。

なるべく徒歩、乗り合わせ等によりお越してください。

校区
舞の里 8/28(金)
19:00～20:30
舞の里小学校会議室
(舞の里4丁目21-1)

校区
古賀東 8/29(土)
10:00～11:30
古賀市公民館久保分館
(新久保2丁目2-11)
予備駐車場：古賀東小学校

校区
花鶴 8/29(土)
19:00～20:30
古賀東区公民館
(駅東1丁目2-8)
駐車場：古賀市役所

校区
花見 8/30(日)
19:00～20:30
花見東一区自治公民館
(花見東4丁目9-1)
予備駐車場：花見小学校

校区
小野 8/31(月)
19:30～21:00
谷山区公民館
(谷山1116-1)

校区
青柳 9/4(金)
19:00～20:30
青柳区公民館
(青柳1699-1)

校区
千鳥 9/5(土)
19:00～20:30
古賀市社会福祉センター千鳥苑
(千鳥3丁目3-1)

校区
古賀西 9/7(月)
19:00～20:30
古賀北区公民館
(天神5丁目2-5)
駐車場：古賀西小学校

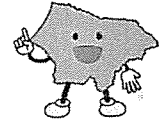
☆お問い合わせ・託児相談先☆
事務局：古賀市総務部総務課
地域コミュニティ室
電話：942-1165
FAX：942-3758
e-mail:commu@city.koga.fukuoka.jp

古賀みらいサマーミーティング
～古賀市の未来のまちづくりを考える市民対話集会～

古賀市自治基本条例(仮称)策定委員会

今日のプログラム

1. わたしたちの紹介、今日の目的
2. 話題提供
3. 対話の時間
 - ・まちづくりのキーワード
 - ・この地域がより住みやすい地域であるために
4. 総括
5. おわりに

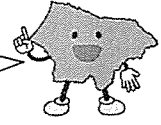


1. わたしたちの紹介、今日の目的

わたしたちは何者か？【自己紹介】

古賀市自治基本条例(仮称)策定委員会

ぼくは「古賀市くん」!



古賀みらいサマーミーティングの目的

古賀市をもっと良いまちにするために、策定委員会で話し合いを行っています。
・・・でも・・・

↓

より良いまちづくりは市民全体に関係すること

↓


より良いまちづくりのため、市民がやりたいこと、やるべきことなどをより多くの市民と話し合いたい!

2. 話題提供

参考：当日使用したパワーポイント資料

古賀市のまちづくりのキーワード

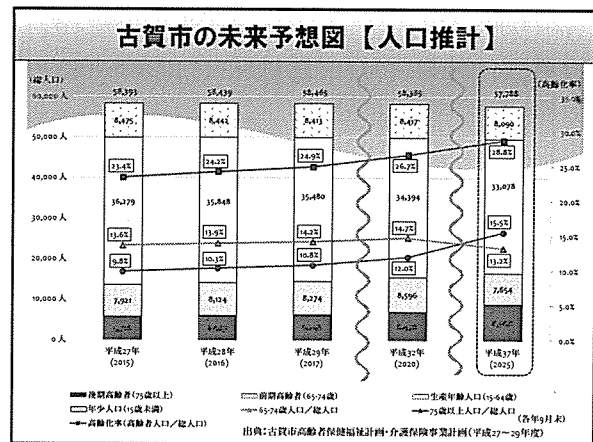
～策定委員会で出された意見から～



1. まちのことを知る、「古賀学」
2. 多様な人のつながり・交流、「組愛」
3. 安全と安心、助け合い・思いやり
4. まちの活気、産業
5. まちづくり、自由に色々企画できる雰囲気
6. 住んで良かったといえるまち、住みたいまち
7. 次世代にバトンタッチできるまち

1. まちのことを知る、「古賀学」
まず、まちのことを知ることが大事。まちを知ればまちを好きになる。
古賀のことを知る取り組み＝「古賀学」
2. 多様な人のつながり・交流、「組愛」
人と人のつながり、地域でのコミュニケーション、世代間など多様な人の交流をもっと大切に。
自分の地域を愛すること＝「組愛」
3. 安全と安心、助け合い・思いやり
一人ひとりを大切にする。みんなにやさしく、思いやり、助け合い。お互いに関心を持ち、孤立させない。これらのことから生まれる安全と安心。

4. まちの活気、産業
生活の基盤である産業を活性化させる。まちの魅力を高め、若い人があこがれるようなまちにしていく。
5. まちづくり、自由に色々企画できる雰囲気
まちの魅力を見つけたり、課題を解決したり、意外と自由にイロイロ企画できる雰囲気が古賀にはある。
6. 住んで良かったといえるまち、住みたいまち
古賀市に住んでよかったと思えるまちにしたい。実はそこそこ住みやすいまちである。
7. 次世代にバトンタッチできるまち
世代から世代へ、まちづくり（自治）の知恵をどう受け継ぐか、どう伝えるか。



古賀市の未来はどうなる？

少子高齢化と生産年齢人口減少が進む中、市民ニーズと地域の新たな課題への対応

↓

現在、校区コミュニティ・自治会・ボランティア団体・個人など、たくさんの方が課題解決に向け活動

↓

その活動を未来に引き継ぎ、更に発展させることが必要では？

そのためのルールづくりとして

今あるさまざまな活動を未来に引き継ぎ、更に発展させるため

↓

古賀市民として

- ・自分たち（地域）のことを自分たち（地域）で決め、決めたことに責任をもつ
- ・自分たちの（地域）の課題を、自分たち（地域）で解決する
- ・人と人とのつながりを大切にする

↓ なども考え

市役所や議会、市民の役割などまちづくりのルールを示した「古賀市自治基本条例（仮称）」づくり

参考：当日使用したパワーポイント資料

今日、皆さんからお聴きしたいこと

今日は特に、地域のことについて考えます。

①「古賀市のまちづくりのキーワード」で最も共感した、あるいは、良いと思ったのは、何番のキーワードですか？それはなぜですか？

②今後、5年、10年先も、この地域がより住みやすい地域であるために、活かしたいよいところや、解決したいことはなんですか？

今日のミーティングの内容を元に…

この「古賀みらいサマーミーティング」は古賀市内の全小学校区で実施します。

↓


今日の意見やアイデアも参考にして、より良いまちづくりの基本的考え方や仕組みを自治基本条例（案）として作成します。

↓

前向きな意見をどんどん出して語り合きましょう。

↓

では、いよいよサマーミーティング開始です！



まちづくりのキーワード

そのキーワードを選んだ理由を黄色のふせんに書き出してみましょう。

○番理由：～

1. まちのことを知る、「古賀学」
2. 多様な人のつながり・交流、「紐愛」
3. 安全と安心、助け合い・思いやり
4. まちの活気、産業
5. まちづくり、自由に色々企画できる雰囲気
6. 住んで良かったといえるまち、住みたいまち
7. 次世代にバトンタッチできるまち

キーワードをまとめよう

自己紹介（短く）、それぞれの意見をグループ内で発表し、キーワードの番号ごとにまとめてみましょう。


古賀市のまちづくりのキーワード（ 班）	
キーワード	理由
1 まちのことを知る、「古賀学」	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2 多様な人のつながり、交流、「紐愛」	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 安全と安心、助け合い・思いやり	
4 まちの活気、産業	
5 まちづくり、自由に色々企画できる雰囲気	
6 住んで良かったといえるまち、住みたいまち	
7 次世代にバトンタッチできるまち	

今後、5年、10年先もこの地域がより住みやすい地域であるために

それぞれ書き出してみましょう

○ピンクのふせん
→活かしたい良いところ

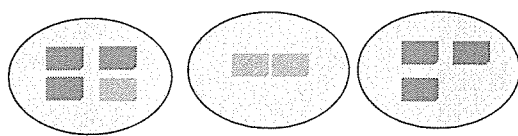
○青色のふせん
→解決したい困りごと



今後、5年、10年先もこの地域がより住みやすい地域であるために

それぞれの意見をグループ内で発表し、内容ごとにまとめてみましょう。

よく似た意見 よく似た意見 よく似た意見



参考: 当日使用したパワーポイント資料

